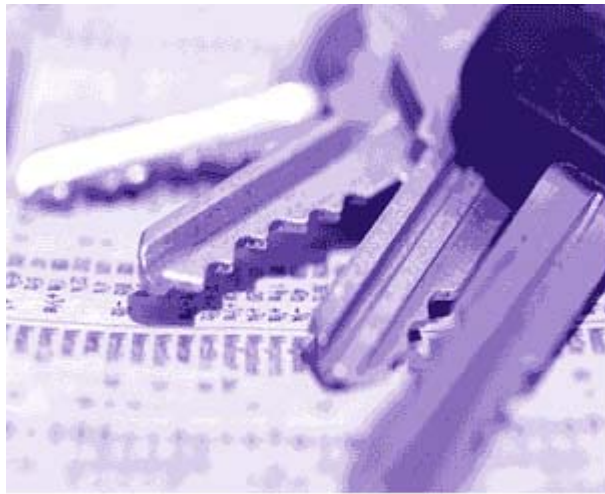


SaFee



Winny 関連の情報漏えいに対するソリューション

頻発している Winny 関連の情報漏えい

Winny にウイルスが感染した場合、ファイルは社外に流出します。また USB ディスクなどの媒体によって情報が流出することもあります。

近年、多くの企業や政府機関において、情報の流出、情報の漏えいが頻発しています。



“事前予防型”と“記録型”

情報流出を防ぐためのセキュリティ製品には、事故が起きることを防止する**事前予防型**と、事故がどのように起こったかを記録しそれに対処する**記録型**の2種類があります。SaFee は事前予防型です。

記録型は不正利用が起こったあとに、発生を記録する

不正利用



SaFee が導入されている場合、流出先の PC 上で暗号が解除できないので、閲覧・編集はできません。



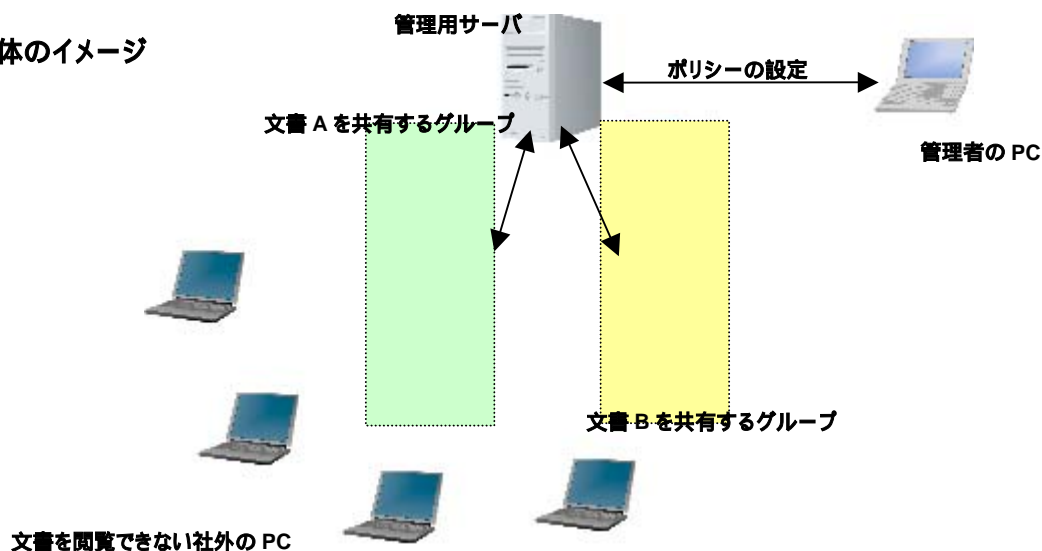
社外の PC では開くことが不可能

同じ部署の中では文書を観覧・編集する(社内の別の部署や社外にファイルが流出しても、そのファイルは閲覧・編集は不可能)。
社内で文書を観覧・編集する(社外ではそのファイルは閲覧・編集は不可能)。



社内における文書の共有

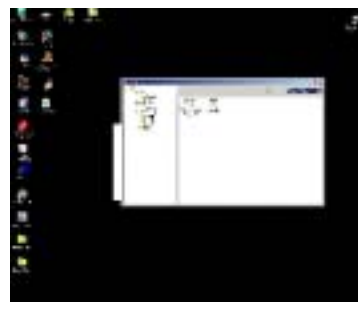
全体のイメージ



Linux 画面



Windows 画面



コピー & ペーストの制限

SaFee は、文書を独自のフォルダに入れます。ファイルはそのフォルダから移動しようとするすると警告が出ます。

それでもコピーをしようすると、アプリケーションが強制終了されます。

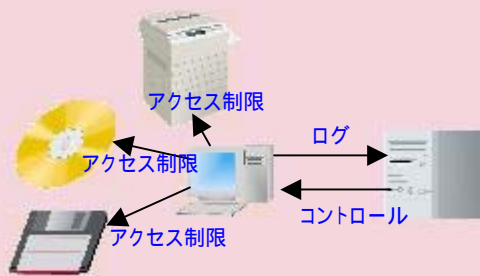
またアプリケーションを開いて、他のアプリケーションにクリップボードを介してコピー & ペーストをしようとしても、できません (制限事項あり)。

鍵の種類

鍵としては、パスワード、MAC アドレスが標準装備されています。標準装備ではありませんが、生体認証 (バイオメトリクス)、USB キー、IC カード、ワンタイムパスワードが使用できます。



USB ディスク、DVD ディスク、プリンタへのアクセスを制限や許可制にすることができます。またアクセスを許可する場合には、ログを残すことができます。



デバイスへのアクセスの制限

Linux は Windows に代わる OS として、サーバだけではなく、ビジネス PC 用として使われるようになってきています。多数の Linux をデスクトップ PC として使うオフィスでは、Windows と同様に情報漏えいの問題が起きます。SaFee は Linux にも対応しています。



LINUX への対応

エクスプローラと同様なユーザーインターフェイスを用いており、マニュアルを読むことなしに、誰でもすぐに使いこなすことができます。



動作環境		
サーバ	OS	Linux
	データベース	PostgreSQL または MySQL
	CPU	Pentium III 800Hz 以上推奨
	メモリ	256MB 以上
管理コンソール	OS	Windows
	CPU	Pentium III 800Hz 以上推奨
	メモリ	256MB 以上
クライアント	OS	Windows または Linux
	CPU	Pentium III 800Hz 以上推奨
	メモリ	256MB 以上

主要機能一覧		
暗号化	自動暗号化機能	ドキュメントをフォルダに入れるだけで自動的に暗号化が施されます。
	暗号化アルゴリズム	AES, Blowfish, 3DES
情報漏えいに対する処置	人為的に外部や社外に流出した文書	解読不可能
	事故によって外部や社外に流出した文書	解読不可能
	winny に感染するウイルスなどによって外部や社外に流出したファイル	解読不可能
ファイル管理	フォルダによる管理	独自のフォルダに入れます。ファイルをフォルダから移動しようとする警告が出て、そのフォルダから出すことはできません。
	他の文書へコピー & ペーストの制限	検出可能で、制限を付与できます。
サーバによる設定	アクセス権設定	ファイルごとに、閲覧、編集などの権限を設定できます。
	ポリシー設定	どの PC で開くことができるか、どの文書を外部に公開し、どの文書を外部に非公開とするかなどのポリシーを決定します。
	共有グループ設定	文書をどのように共有するか、同じ文書を共有できるグループを設定します。
	機能制限の設定	コピー & ペーストを制限するかどうかを設定します。
	デバイスアクセス制限の設定	FD、CDRW、DVD ディスク、USB ディスク、プリンタなどへの制限を設定します
履歴管理	ログ機能	デバイスへのアクセス、外部へのコピーなどを記録できます。

お問い合わせは
 開発元 株式会社フュージョンシス



<http://fusionsys.com/> | info@fusionsys.com
 〒108-0023
 東京都港区芝浦 3-11-1 キョウワクリエイト第一ビル 3F
 電話 03-5730-3025 | FAX 03-5730-3025